

# 出張講演レポート

**日時** : 2005年6月6日(月)  
**場所** : 武蔵野中央病院(東京都小金井市)  
**聴講者** : 約15名  
**講演** : 巣立ち会メンバー7名

今回の病院出張は、病院の入院患者さんのOTグループで、地域生活を知ろうという趣旨のグループセッションを行いたいというご希望があり、早速の出張となりました。



会場には多くの人にお集まり頂きました

今回の参加者は、何回か講演を体験していた人が多かったためか、どことなく余裕がある感じです。



出番を待つメンバーたち

会場には15人ほどの患者さんが待っていてくださり、ご紹介の後、ビデオを見てもらいましたが、皆さん興味を持ってずっと画面に集中していました。巣立ちのメンバーの皆さんも、笑いながらよく見ていました。

その後、一息ついてから、質疑応答となりました。住居の問題に関心のある人が多く、グループホームの利用期限や入所の基準などについてといった、具体的な質問も出ました。巣立ちのメンバーから「更新は1年ごとだが、6年間住んでいる人もいるし、人それぞれに利用期間は違う」「作業所にしっかり通えるくらい安定していることが条件」と、しっかりと答えがありました。



患者さんとメンバーで質疑応答

最後に、「病院と地域生活の違いは？」との質問があったので、巣立ちのメンバーに順番に答えてもらいました。「病院に入院していたときは、思い返せば浦島太郎のような状態だった。何も考えずに月日が過ぎていった。そのうち主治医から退院を勧められて、ようやく病院から出ることができた」「ロックのコンサートに行くことができた。寝る時間や起きる時間など、自分で決めていいので自由がある」「プラモデルを作ったり、毎日楽しみがある」と、それぞれの言葉で自分の生活を語っていました。



#### 様々なことを語りました

以上で会は終了となりました。このグループへの出張は、8月まで2週間に1回の割合で続く予定です。退院を検討中の皆様に何らかの参考になればと思います。

(巣立ち風 長門)